



## 伝染性紅斑(通称:りんご病)が流行の兆し!

ほぼ5年周期で発生数が増加している伝染性紅斑ですが、今年度、県内で定点報告数が増加を続け、平成27年第53週の報告では若狭管内で警報レベル(1定点当たりの報告数が2人)を超えました。

特異的な治療法はなく、罹患してもほとんど自然に回復しますが、妊婦が感染すると流産を起こすことがあります。ワクチンによる予防法はありませんので、一般的な予防法である手洗い、うがいを行うよう注意喚起をお願いします。

### ★主な症状

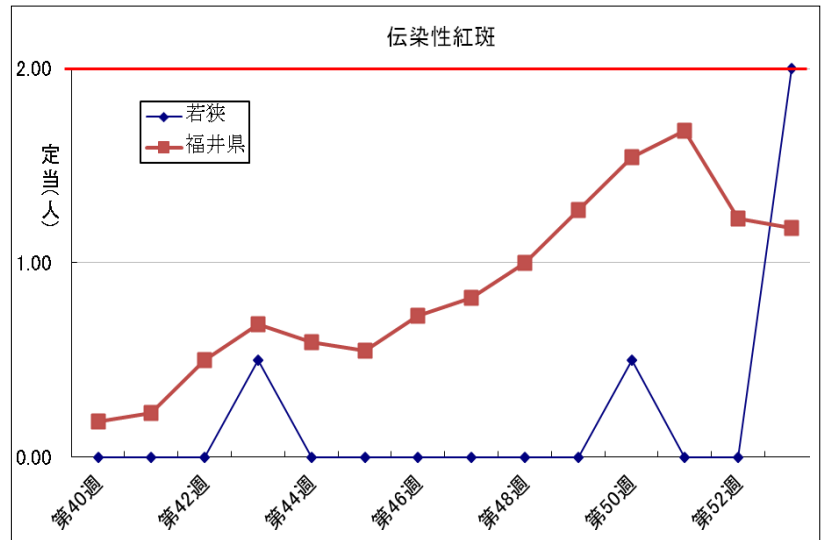
微熱や風邪のような症状が出た1週間～10日後に、頬が赤くなり次に手足に赤い発疹(紅斑)がでます。赤みは約1週間で一度消えますが、その後も紅斑が出たり消えたりする症状が3～4週間程度続きます。

### ★感染経路について

咳やくしゃみなどを吸い込むことによる飛沫感染や、汚染された手指や物品を介した接触感染により感染します。

### ★ウイルス排泄期について

微熱や風邪のような初期症状が出た頃がウイルスを排出し、ヒトに感染させるウイルス排泄期で、特徴的な症状はありません。また、紅斑出現時にはほとんど感染力がありません。



## ノロウイルスによる感染性胃腸炎の拡大に御注意ください

当センター管内の福祉施設において、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の患者の報告が相次いでいます。現在のところ、集団発生には至らないものの、今後、職員を仲介して感染拡大することも懸念されます。嘔吐物処理の道具および手順を改めて見直してください。

ノロウイルスはアルコールによる消毒効果が期待できません。必ず塩素系の消毒剤を御使用ください。

次亜塩素酸ナトリウムの使用(適切な濃度で)

- 直接手で触れる機会がある場所→濃度:0.02%(例)ドアノブ、水道の蛇口、机、イスなど
- 嘔吐物、便等で汚染された場所→濃度:0.1%

### 福井県感染症発生動向調査速報

(第49週 H27年11月30日～第53週 H28年1月3日)

2類:結核 10名(1名)

4類:レジオネラ症 2名(0名)

5類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3名(0名)

梅毒 1名(0名)

侵襲性肺炎球菌感染症 2名(0名)

\* ( )内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター

地域保健課 宮下

TEL:0770-52-1300 FAX:0770-52-1058

メール:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※こちらのチラシは当センターホームページからダウンロードできます。